Panasonic®

取扱説明書 基本操作編
デジタルカメラ

品番 DMC-LX7

LUMIX

安全上のご注意
準備
撮る・見る
パソコンとの接続
その他

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●**ご使用前に「安全上のご注意」（37 ～ 43ページ）を必ずお読みください。**
●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

本機の詳しい操作説明について

本機の使い方や使用上のお願いなど詳しい操作説明は、本機のCD-ROM（付属）に記録された「取扱説明書 詳細操作編」（PDF形式）に記載されています。

• パソコンにコピーしてお読みください。コピーのしかたは3ページをお読みください。

保証書別添付

DOLBY DIGITAL

VQT4H89
M0712KZ0

目次

必ずお読みください

準備

撮る・見る

パソコンとの接続

その他

取扱説明書(PDF形式)を読む

本機操作の詳細については、CD-ROM（付属）の「取扱説明書 詳細操作編」に記載されています。パソコンにコピーしてお読みください。

■Windows の場合

① パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）を入れる
② インストールメニューが表示されたら、[取扱説明書]をクリックする
③ [日本語]が選ばれている状態で、[取扱説明書]をクリックしてコピーする
④ デスクトップの[取扱説明書]のショートカットアイコンをダブルクリックして開く

■取扱説明書(PDF形式)が開けないときは

取扱説明書(PDF形式)を閲覧・印刷するためには、Adobe Acrobat Reader 5.0以降、またはAdobe Reader 7.0以降が必要です。
お使いのパソコンにインストールされていない場合は、CD-ROM（付属）を入れ、[Adobe Reader]をクリックしたあと、画面のメッセージに従って進み、インストールしてください。
（対応OS：Windows XP SP3 / Windows Vista SP2 / Windows 7）

- Adobe Readerは、下記のサイトからダウンロードできます。
  http://get.adobe.com/jp/reader/otherversions/

■取扱説明書(PDF形式)をアンインストールするには

"Program Files¥Panasonic¥Lumix¥" フォルダー内のPDFファイルを削除してください。

■Macの場合

① パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）を入れる
② CD-ROM（付属）の「Manual」フォルダーを開き、言語フォルダー内のPDFファイルをコピーする
③ PDFファイルをダブルクリックして開く

「取扱説明書 詳細操作編」は、下記サポートサイトでもご覧いただけます。
http://panasonic.jp/support/dsc/

ご使用の前に

■本機の取り扱いについて

本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。

●下記のような状態で使用すると、レンズや液晶モニター､外装ケースが破壊される可能性があります。また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。

- 本機を落とす、またはぶつける
- 本機をズボンのポケットに入れたまま座る、またはいっぱいになったかばんなどに無理に入れる
- 本機に取り付けたストラップに、アクセサリーなどをぶら下げる
- レンズ部や液晶モニターを強く押さえつける

本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。
ほこり･水･砂などの多い場所でのご使用を避けてください。

●下記のような場所で使用すると、**レンズやボタンの隙間から液体や砂、異物などが入ります。**故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特にお気をつけください。

- 砂やほこりの多いところ
- 雨の日や浜辺など水がかかるところ

■露付きについて(レンズや液晶モニターが曇るとき)

●露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズや液晶モニターの汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。

●露付きが起こった場合、電源スイッチを[OFF]にし、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。

■事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

付属品

付属品をご確認ください。（品番は2012年7月現在）

バッテリーパック DMW-BCJ13 ● 充電してからお使いください。 （本書では、「バッテリー」と表記します）	バッテリーチャージャー※1 DE-A81A （本書では、「チャージャー」と表記します）
ショルダーストラップ VFC4901	ホットシューカバー※2 VKF4970
レンズキャップ※2 VYK5W85（本体色が黒の場合） VYK5W86（本体色が白の場合）	レンズオーナメント※2 VGQ1H81（本体色が黒の場合） VGQ1H82（本体色が白の場合）
USB接続ケーブル K1HY08YY0025	レンズキャップひも VFC4366
CD-ROM ● ソフトウェア ● 取扱説明書 詳細操作編 （パソコンにインストールしてお使いください。）	

※1 予備のチャージャーを購入されるときは、別売品のチャージャー（DMW-BTC5)をお買い求めください。
※2 お買い上げ時は、カメラ本体に装着されています。

- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- **メモリーカードは別売です。**（本書では「カード」と表記します）
  別売品については36ページを参照してください。
- 製品のイラストや画面は、実物と異なる場合があります。

各部の名前と働き

絞りリング
絞り値を調整できます。

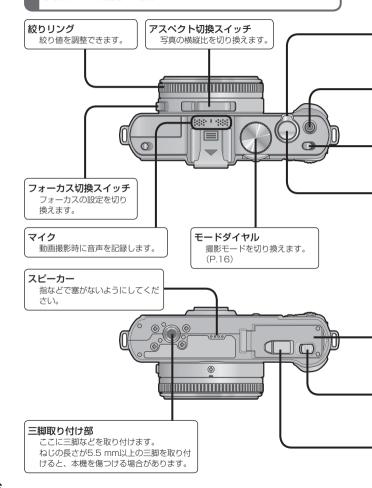
アスペクト切換スイッチ
写真の横縦比を切り換えます。

フォーカス切換スイッチ
フォーカスの設定を切り換えます。

マイク
動画撮影時に音声を記録します。

モードダイヤル
撮影モードを切り換えます。（P.16）

スピーカー
指などで塞がないようにしてください。

三脚取り付け部
ここに三脚などを取り付けます。
ねじの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、本機を傷つける場合があります。

製品のイラストや画面は、実物と異なる場合があります。

ズームレバー
写す範囲を調整できます。

動画ボタン
動画撮影を開始するとき、および終了するときに押します。

電源スイッチ
電源を入り切りします。

シャッターボタン
写真を撮影するときに押します。

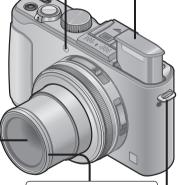
レンズ部
撮影時は前方に繰り出します。

カード／バッテリー扉
カードやバッテリーを出し入れするときに開きます。

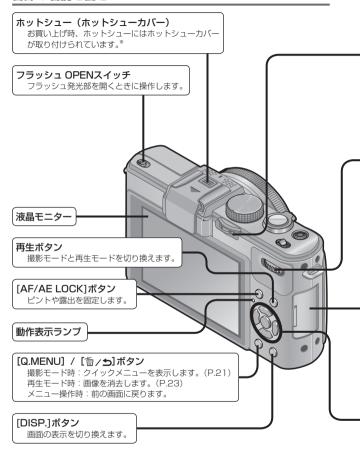
開閉レバー
カード／バッテリー扉を開けるときに操作します。

カプラーカバー
DCカプラー（別売)および ACアダプター（別売)を使うときに開きます。

セルフタイマーランプ／AF補助光ランプ
セルフタイマー設定時や暗所でAFが動作するときに発光します。

フラッシュ発光部
フラッシュ OPEN スイッチ(P.8)を操作すると開きます。

レンズオーナメント
レンズオーナメントの取り付け、取り外しの際は、ゆっくり丁寧に回してください。
(強く締めつけすぎると、外れなくなるおそれがあります)

ショルダーストラップ取り付け部
付属のショルダーストラップやレンズキャップひもをここに取り付けます。

各部の名前と働き

※ ホットシュー未使用時は、必ずホットシューカバーを付けてください。

[ND/FOCUS] レバー

レバーを左右に倒したり、押し込んだりして操作します。

マニュアルフォーカスの調整など

内蔵NDフィルターのON/OFFなど

後ダイヤル

ダイヤルを左右に回したり、押し込んだりして操作します。

シャッタースピードの調整など

操作項目の選択や決定など

端子カバーの開け方

HDMIミニケーブル(別売)

USB接続ケーブル(付属)など

- ケーブルを接続するときは、端子の向きを確認し、まっすぐ差し込んでください。

[MENU/SET]
- メニュー表示・設定など
(P.24)

[Fn] ボタン／左カーソルボタン(◀)
- [Fnボタン設定] に登録した機能

[ISO] ボタン／上カーソルボタン(▲)
- ISO感度

[WB] ボタン／右カーソルボタン(▶)
- ホワイトバランス

[⧉ ◷] ボタン／下カーソルボタン(▼)
- 連写・セルフタイマーなど

●本書では、操作するボタンをグレーで色分けしたり、▲▼◀▶ で表しています。

レンズキャップ／ショルダーストラップを付ける

レンズ保護のため、撮影していないときはレンズキャップを付けておいてください。また、落下防止のため、ショルダーストラップの取り付けをお勧めします。

1 レンズキャップと本機をレンズキャップひもでつなぐ

2 レンズキャップを付ける

撮影するときは、レンズキャップを外してから、電源スイッチを[ON]にしてください。

レンズキャップを付け外しするときは、左図の矢印部分をつまんでください。

3 ショルダーストラップを取り付ける

- もう片方も取り付けてください。
- ショルダーストラップが抜けないことを確認してください。
- ショルダーストラップのLUMIXロゴが外側になるように付けてください。

バッテリーを充電する

お買い上げ時、バッテリーは充電されていません。
充電してからお使いください。

- 充電は周囲の温度が10 ℃～ 30 ℃(バッテリーの温度も同様)のところで行うことをお勧めします。

1 バッテリーをしっかり取り付ける

2 プラグを起こし、電源コンセントへしっかり差し込む

充電ランプ(CHARGE)
点灯：充電中(使い切ってから充電した場合、約155分)
消灯：充電完了
(電源コンセントからチャージャーを抜いてバッテリーを外す)

カードについて

- 最新情報：http://panasonic.jp/support/dsc/

<table>
<tr><th>カードの種類</th><th>備考</th></tr>
<tr><td>SDメモリーカード
miniSDカード※
microSDカード※
(8 MB ～ 2 GB)</td><td rowspan="3">● それぞれ、対応の機器でのみお使いになれます。
● SDXCメモリーカードをお使いの場合は、パソコンなどが対応しているかご確認ください。
http://panasonic.jp/support/sd_w/
● 動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class4」以上のカードを使用してください。
SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面などでご確認ください。
(例) CLASS④ ④
● 左記の容量以外のカードは使えません。</td></tr>
<tr><td>SDHCメモリーカード
microSDHCカード※
(4 GB ～ 32 GB)</td></tr>
<tr><td>SDXCメモリーカード
(48 GB、64 GB)</td></tr>
</table>

※ 専用のアダプターが必要です。

バッテリーやカード(別売)を入れる・取り出す

1 電源スイッチを[OFF]にし、開閉レバーを[OPEN]にして、カード／バッテリー扉を開ける

OPEN（開く） LOCK（閉じる）

2 バッテリーとカードを奥まで入れる

- **バッテリー：**
  バッテリーを奥まで、ロック音がするまで確実に挿入し、バッテリーにレバーがかかっていることを確認する
- **カード：**
  「カチッ」と音がするまで押し込む

3 カード／バッテリー扉を閉め、開閉レバーを[LOCK]にする

■取り出すとき

- **バッテリー：**
  レバーを矢印方向へ引く

- **カード：**
  中央を押す

電源を入れて、時計を設定する

お買い上げ時は時計が設定されていません。
準備：あらかじめレンズキャップを外してください。

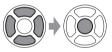
[🗑／↩]ボタン

■時計を合わせ直す場合
セットアップメニューまたは撮影メニューから[時計設定]を選び、手順 3 の操作を行ってください。
- メニュー操作については、24ページをお読みください。

1 電源スイッチを[ON]にする

電源が入り、
[時計を設定してください]
と表示されます。
（お買い上げ時）

2 [MENU/SET]を押して、時計設定を開始する

3 日時と表示方法を設定する

①▲▼で年を合わせ、▶を押す
②▲▼で月を合わせ、▶を押す
③同じように日・時・分を合わせ、▶を押す
④▲▼で年月日の表示順を選び、▶を押す
⑤▲▼で時刻表示形式を選び、[MENU/SET]を押す

4 [MENU/SET]を押して終了する

- 前の画面に戻るとき
→[🗑／↩]ボタンを押す

撮影の流れ

準備：あらかじめレンズキャップを外してください。

1 電源を入れる

OFF ON

2 撮影モード(P.16)を選ぶ

P A S M iA C1 C2 SCN

使うモードに確実に合わせる

3 ズームを使う

広く撮る（広角） W T 大きく撮る（望遠）

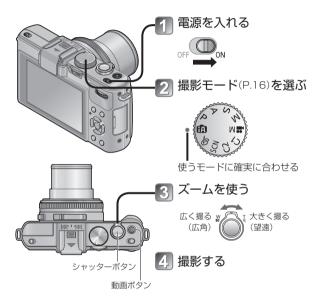
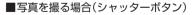
4 撮影する

シャッターボタン

動画ボタン

■写真を撮る場合(シャッターボタン)

半押し
（軽く押して
ピント合わせ）

全押し
（さらに押し
込んで撮影）

- 撮影モードにより、操作が一部、異なる場合があります。

■カメラの構え方

- 手ブレが気になるときは、両手で持ち、脇を締めて、肩幅くらいに足を開く。
- レンズを触らない。
- 動画撮影の際、マイクを指で塞がない。
- フラッシュ発光部、AF補助光ランプを塞がない、近くで見ない。
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないように気をつける。

●落下防止のため、ショルダーストラップの使用をお勧めします。

撮る・見る

■内蔵フラッシュを使う

フラッシュ発光部が開きます。

- 使用後は、カチッと音がするまで、フラッシュ発光部を押して閉じてください。

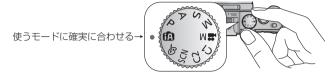
■動画を撮る場合（動画ボタン）

押す
（撮影開始）

押す
（撮影終了）

撮影モードについて

モードダイヤルを回して、撮影モードを切り換えることができます。

使うモードに確実に合わせる→

iA	**インテリジェント オートモード**	カメラにおまかせで撮影します。 また、明るさや色合いなどもコントロールできる「インテリジェントオートプラスモード」にメニュー操作で切り換えることができます。
P	**プログラムAE モード**	シャッタースピードと絞り値を自動で設定して撮影します。
A	**絞り優先AEモード**	絞り値を決めて撮影します。
S	**シャッター優先AE モード**	シャッタースピードを決めて撮影します。
M	**マニュアル露出 モード**	シャッタースピードと絞り値を決めて撮影します。
M	**クリエイティブ 動画モード**	絞り優先やシャッター優先など、露出モードを選んで動画を撮影します。また、ハイスピード動画も撮影できます。
C1 C2	**カスタムモード**	あらかじめ登録しておいた設定で撮影します。
SCN	**シーンモード**	被写体など、撮影シーンに適した設定で撮影します。
	クリエイティブ コントロールモード	お好みの効果を選んで撮影します。

インテリジェントオートモードで撮る

カメラを被写体に向けると、「顔」「動き」「明るさ」「距離」などの情報から自動で最適な設定になるので、カメラまかせできれいに撮影できます。

- モードダイヤルを[iA]に合わせて撮影する

判別した各シーンのアイコンが表示されます。

	[i人物]		[i夜景＆人物]
	[i赤ちゃん]		[i夜景]
	[i風景]		[i手持ち夜景]
	[i夕焼け]		[iマクロ]
iA	どのシーンにも当てはまらないとき		

背景をぼかす

1 後ダイヤルを押す

2 後ダイヤルを回して背景のボケ具合を調整し、後ダイヤルを押して決定する

- 自動調整に戻すとき
  →[🗑/↩]ボタンを押す

背景をぼかす ⟷ 背景にもピントを合わせる

シャッタースピードや絞り値を決めて撮る

［プログラムAE］［絞り優先AE］［シャッター優先AE］［マニュアル露出]の各撮影モードでは、シャッタースピードや絞り値を決めて撮影できます。

モードダイヤルを[P］［A］［S］[M]のいずれかに合わせて撮影する

■プログラムAEモード[P]の場合

シャッタースピードと絞り値の組み合わせを調整できます。（プログラムシフト）

1 シャッターボタンを半押しする

ピピッ

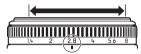
2 後ダイヤルを回してシャッタースピードと絞り値の組み合わせを選ぶ

プログラムシフト表示

- シャッタースピードや絞り値が表示されている間(約10秒間)に操作してください。

■絞り優先AEモード[A]の場合

任意の絞り値を設定できます。（シャッタースピードは自動で調整されます）

1 絞りリングを回して絞り値を選ぶ

[1.4]から[8]までの間で
1/3段ごとに設定できます。
（カチッと止まるところに設定）

■シャッター優先AEモード[S]の場合

任意のシャッタースピードを設定できます。（絞り値は自動で調整されます）

1 後ダイヤルを回して
シャッタースピードを選ぶ

■マニュアル露出モード[M]の場合

任意のシャッタースピードと絞り値を設定できます。
上記の「絞り優先AEモード[A]の場合」と「シャッター優先AEモード[S]の場合」を参考に設定してください。

• 露出メーター（左記）で赤く表示されている領域は、適性露出にならない組み合わせです。

露出メーターについて

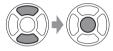
現在設定されている
シャッタースピード

現在設定されている絞り値

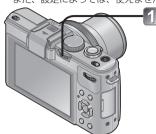
画像に効果を加えて撮る

いろいろな効果の中からお好みの設定を選んで、画面上で効果を確認しながら撮影できます。

● モードダイヤルを[ ]に合わせて撮影する

1 ▲▼で効果を選び、[MENU/SET]を押す

- [DISP.]ボタンを押すと、効果の説明が表示されます。
- モードダイヤルを[ ]に合わせたときは、自動的にメニューが表示されます。
- [MENU/SET]を押すと、クリエイティブコントロールモードメニュー（左記）を表示できます。メニューの操作方法は、24ページをお読みください。

内蔵NDフィルターを使う

内蔵NDフィルターを使うと、さらにシャッタースピードを遅くしたり、絞りを開けたりできます。(効果は約3EV分)
- インテリジェントオートモードやシーンモードなどでは設定できません。また、設定によっては、使えません。

1 [ND/FOCUS]レバーを押して、内蔵NDフィルターを有効にする

- 解除するとき→もう一度押す

クイックメニューを使う

撮影モードでは、写真や動画の主な設定を素早く変更することができます。

1 [Q.MENU]ボタンを押してクイックメニューを表示する

Q.MENU

2 カーソルボタンまたは後ダイヤルを使って設定を変更する

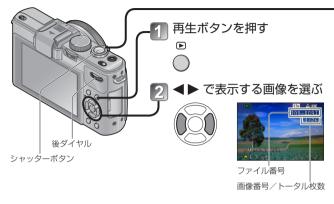
■カーソルボタンを使う場合

①◀▶ でメニュー項目を選び、[MENU/SET]を押す
②◀▶ で設定を変更し、[MENU/SET]を押す

■後ダイヤルを使う場合

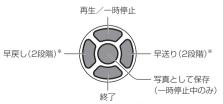
①後ダイヤルを回してメニュー項目を選び、後ダイヤルを押す
②後ダイヤルを回して設定を変更し、後ダイヤルを押す

- [Q.MENU]ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しすると、クイックメニューを終了します。

撮影した画像を見る

- 後ダイヤルを回しても画像を選択できます。

●再生中にもう一度、再生ボタンを押すか、シャッターボタンを押すと、撮影モードになります。

■動画の再生

動画アイコン([AVCHD PSH]や[MP4 FHD]など)が表示されている画像を選んで ▲ を押すと、動画を再生できます。

※ 一時停止中はコマ送り／コマ戻しとなります。

●音量はズームレバーで調整できます。

■拡大表示／一覧表示する

W側に回す

ズームレバーをさらにW側に回すと、12画面表示→30画面表示→カレンダー再生に切り換わります。

T側に回す

ズームレバーをT側に回すごとに、2／4／8／16倍にズームします。

写真や動画の消去

消去した画像は、元に戻せません。

1 消去する画像を表示中に[🗑／↩]ボタンを押す

2 カーソルボタンで[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

●セットアップメニューの[フォーマット]を実行すると、内蔵メモリーまたはカードを初期化することができます。(インテリジェントオートモードでは、[フォーマット]は表示されません。)また、プロテクトした画像も消去されます。

撮る・見る

メニューを使う

メニューを使って、本機の設定や撮影機能の設定、再生機能の操作などが行えます。

選択されている設定
メニューの種類
撮影
拡張ISO感度
プログラム線図
個人認証
オートフォーカスモード
クイックAF
選択 決定
メニュー項目
設定内容

1 [MENU/SET]を押してメニューを表示する

2 メニューの種類を選ぶ
(右ページ)

3 ▲▼でメニュー項目を選び、▶を押す

4 ▲▼で設定を変更し、[MENU/SET]を押す

5 [MENU/SET]を押して終了する

• シャッターボタンを半押ししても、メニューを終了できます。
(撮影モードになります。)

●本機の状態により、表示されるメニューの種類や項目、設定は異なります。
●メニューにより操作は異なります。

■メニューの種類

●撮影モード時

●再生モード時

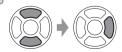
撮影メニュー	画素数やフラッシュなどが設定できます。
動画メニュー	記録方式や画質などが設定できます。
再生モードメニュー	スライドショーや絞り込みなど、画像の再生方法を設定できます。
再生メニュー	画像の保護、切り抜き、プリント設定など、撮影した画像に対して設定ができます。
セットアップメニュー	時計設定や操作音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。

撮る・見る

■メニューの種類を切り換える

1 左ページの手順 2 で ◀ を押してカーソルをメニューの種類に移動する

選択されている メニューの種類

2 ▲▼ でメニューの種類を選び、▶ を押す

メニュー一覧

表示されるメニュー項目は、撮影モードなどにより異なります。

■撮影メニュー

フォトスタイル	色や画質を調整します。
記録画素数	写真の画像サイズを設定します。
クオリティ	写真のデータの圧縮率を設定します。
ISO感度上限設定	自動調整されるISO感度の上限を設定します。
ISO感度ステップ	ISO感度の設定幅を変更します。
拡張ISO感度	ISO12800まで設定できるようにします。
プログラム線図	プログラム線図を変更します。
個人認証	ピントや露出を優先的に合わせる顔を登録します。
オートフォーカスモード	ピントの合わせ方を変更します。
クイックAF	事前にピントを合わせる動作を設定します。
AF/AEロック切換	ピントや露出の固定動作を設定します。
測光モード	露出の基準となる測光方式を設定します。
iDレンジコントロール	コントラストや露出を自動的に補正します。
多重露出	数回撮影した画像を1枚の写真に合成します。
下限シャッター速度	自動調整されるシャッター速度の下限を設定します。
超解像	画像の解像感を向上させます。
iAズーム	画質の劣化を抑えつつ、ズーム倍率を上げます。
デジタルズーム	デジタル処理によりズーム倍率を上げます。
ステップズーム	撮りたい焦点距離(撮影できる画角の指標)を選んでズーム操作できる設定にします。
手ブレ補正	手ブレ補正機能を設定します。
AF補助光	暗所でAF補助光を発光するかどうか設定します。
フラッシュ	フラッシュの発光方法を設定します。
フラッシュシンクロ	フラッシュの発光タイミングを設定します。
フラッシュ光量調整	フラッシュの発光量を調整します。
デジタル赤目補正	フラッシュによる赤目現象を自動で補正します。
カラーモード※1	色や画質を調整します。
ブレピタモード※1	被写体ブレを抑えて撮影します。
i手持ち夜景※1	連写を利用して夜景を撮影します。
iHDR※1	白飛びや黒つぶれを抑えて撮影します。
外部光学ファインダー	外部光学ファインダー取付時の液晶モニターの表示を設定します。
アスペクトブラケット	画像縦横比の異なる写真を同時に撮影します。
インターバル撮影	一定時間ごとに自動撮影します。
日付焼き込み	写真に撮影日時を焼き込みます。
時計設定	日時を設定します。

※1 インテリジェントオートモードのみ

■動画メニュー

フォトスタイル※2	色や画質を調整します。
撮影モード	動画の記録方式を設定します。
画質設定	動画の画質を設定します。
ISO感度上限設定※2	自動調整されるISO感度の上限を設定します。
ISO感度ステップ※2	ISO感度の設定幅を変更します。
オートフォーカスモード※2	ピントの合わせ方を変更します。
AF連続動作	動画撮影中のオートフォーカスの動作を設定します。
AF/AEロック切換※2	ピントや露出を固定します。
測光モード※2	露出の基準となる測光方式を設定します。
iDレンジコントロール※2	コントラストや露出を自動的に補正します。
超解像※2	画像の解像感を向上させます。
iAズーム※2	画質の劣化を抑えつつ、ズーム倍率を上げます。
デジタルズーム※2	デジタル処理によりズーム倍率を上げます。
手ブレ補正※2	手ブレ補正機能を設定します。
AF補助光※2	暗所でAF補助光を発光するかどうか設定します。
風音低減	風による雑音を低減します。

※2 クリエイティブ動画モードのみ

■再生モードメニュー

通常再生	すべての画像を再生します。
2D/3D切換※3	2Dと3Dの出力形式を切り換えます。
スライドショー	撮影した画像を自動で連続再生します。
絞り込み再生	表示する画像をカテゴリーなどで絞り込んで再生します。
カレンダー検索	撮影した日付ごとに画像を表示します。

※3 HDMI出力時のみ

■再生メニュー

WEBアップロード設定	インターネットにアップロードする画像を選びます。
タイトル入力	写真にタイトルを設定します。
文字焼き込み	写真に日付などを焼き込みます。
動画分割	動画を分割します。
リサイズ(縮小)	写真のサイズ(画素数)を小さくします。
トリミング(切抜き)	画像を切り抜きます。
傾き補正	写真の傾きを補正します。
お気に入り	画像を「お気に入り」に設定します。
プリント設定	プリントしたい写真と枚数などを設定します。
プロテクト	消去されないように画像を保護します。
認証情報編集	写真に記録された個人認証の情報を編集します。
画像コピー	画像を内蔵メモリーまたはカードにコピーします。

メニュー一覧(続き)

■セットアップメニュー

時計設定	日時を設定します。
ワールドタイム	旅行先(現地時間)を設定します。
トラベル日付	旅行の経過日数や旅行先を設定します。
操作音	操作音やシャッター音を設定します。
スピーカー音量	スピーカーの音量を設定します。
カスタムセット登録	現在の設定を登録できます。
Fnボタン設定	[Fn]ボタンに割り当てる機能を設定します。
液晶調整	液晶モニターの明るさや色を調整します。
LVF調整	ライブビューファインダー(別売)の明るさや色を調整します。
液晶モード	明るい場所などで液晶モニターを見やすく設定します。
LVF表示スタイル	ライブビューファインダー(別売)の表示を設定します。
LCD表示スタイル	液晶モニターの表示を設定します。
ガイドライン表示	ガイドラインの表示形式を設定します。
ヒストグラム表示	ヒストグラムを表示します。
動画記録枠表示	動画の撮影範囲を表示します。
残量表示切換	記録可能枚数か記録可能時間の表示を選択します。
ハイライト表示	白飛びしている部分を点滅表示します。
露出メーター	露出メーターの表示を設定します。
レンズ位置メモリー	ズームやピントの位置を記憶します。
MFアシスト	MF時に拡大表示します。
エコモード	本機の消費電力を抑える設定をします。
モニター優先	ライブビューファインダー(別売)接続時、再生モードでの表示を設定します。
オートレビュー	撮影直後に写真を表示する設定をします。
起動モード	電源を入れたときの動作を設定します。
番号リセット	画像のファイル番号をリセットします。
設定リセット	設定をお買い上げ時の状態に戻します。
USBモード	パソコンに接続したときの本機の動作を設定します。
映像出力	外部への映像出力の設定を変更します。
ビエラリンク	ビエラリンクの設定を変更します。
3Dテレビ出力	3D対応テレビに接続するときの設定を変更します。
回転表示	縦向きに撮影した写真の表示方法を設定します。
シーンメニュー	シーンモード移行時の画面表示を設定します。
メニュー位置メモリー	メニューの選択位置を記憶します。
ユーザー名記録	撮影時にユーザー名を画像に記録します。
バージョン表示	本機のファームウェアのバージョンを表示します。
フォーマット	カードまたは内蔵メモリーをフォーマット(初期化)します。
デモモード	本機の特長をスライド表示します。

付属のソフトウェアを使う

付属のCD-ROMには、以下のソフトウェアが収録されています。
パソコンにインストールしてお使いください。

■PHOTOfunSTUDIO 8.3 PE

パソコンに写真や動画を取り込んだり、取り込んだ画像を撮影日や撮影したデジタルカメラの機種名などで分類して整理することができます。
また、写真の補正や動画の編集、DVDへの書き込みなどもできます。

- **動作環境**

<table>
<tr><td>対応OS</td><td colspan="2">Windows® XP（32 bit）SP3
Windows Vista®（32 bit）SP2
Windows® 7（32 bit/64 bit）およびSP1</td></tr>
<tr><td rowspan="3">CPU</td><td>Windows® XP</td><td>Pentium® Ⅲ 500 MHz以上</td></tr>
<tr><td>Windows Vista®</td><td>Pentium® Ⅲ 800 MHz以上</td></tr>
<tr><td>Windows® 7</td><td>Pentium® Ⅲ 1 GHz以上</td></tr>
<tr><td>ディスプレイ</td><td colspan="2">1024×768以上(1920×1080以上を推奨)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">搭載メモリ</td><td>Windows® XP</td><td rowspan="2">512 MB以上</td></tr>
<tr><td>Windows Vista®</td></tr>
<tr><td>Windows® 7</td><td>1 GB以上(32 bit)
2 GB以上(64 bit)</td></tr>
<tr><td>ハードディスク</td><td colspan="2">インストールに450 MB以上の空き容量</td></tr>
</table>

その他の動作環境について、詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書(PDF)をお読みください。

■SILKYPIX Developer Studio

RAWファイルの画像を現像や編集するソフトウェアです。編集した画像をパソコンなどで表示できるファイル形式(JPEG、TIFF など)で保存できます。

- **動作環境**

対応OS	Windows® XP Windows Vista® Windows® 7 Mac® OS X v10.4/v10.5/v10.6/v10.7

- SILKYPIX Developer Studio の使い方などの詳しい説明は、「ヘルプ」または以下の市川ソフトラボラトリーのサポートサイトをご覧ください。
  http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/p/support/

■LoiLoScope -30日間フル体験版(Windows XP / Vista / 7)

LoiLoScopeは、お手持ちのパソコンをフル活用する、簡単に動画編集できるソフトウェアです。今までになかった机の上でカードを並べるようにして作るアナログ操作は、覚えることなく初めてでも思いのままに操作し、DVD、Webサイト、メール等々を使い、素早く動画や写真を友達に届けることができます。

- インストールされるのは、体験版ダウンロードサイトへのショートカットのみになります。
- **LoiLoScopeの詳しい使い方は、以下のサイトから「マニュアル」をダウンロードしてご覧ください。**
  使い方Webサイト:http://loilo.tv/product/20/

ソフトウェアをインストールする

準備：

- お使いのパソコンの仕様と各ソフトウェアの動作環境を確認しておく。
- CD-ROM（付属）を入れる前に、他の起動中のアプリケーションソフトをすべて終了しておく。

■Windowsの場合

1 CD-ROM（付属）を入れる

- インストールメニューが起動します。

2 [アプリケーション]をクリックする

3 [おまかせインストール]をクリックする

- 画面のメッセージに従ってインストールを進めてください。

■Mac OSの場合（SILKYPIX Developer Studioのみ）

1 CD-ROM（付属）を入れる

2 認識されたディスクをダブルクリックして開く

3 [Application]フォルダーをダブルクリックして開く

4 [SILKYPIX]フォルダーをダブルクリックして開く

5 フォルダー内にあるアイコンをダブルクリックする

- 画面のメッセージに従ってインストールを進めてください。

●「PHOTOfunSTUDIO」はMacでは使えません。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源 消費電力	●DC 5.1 V ●1.6 W（撮影時） ●1.1 W（再生時）

カメラ有効画素数	1010万画素
撮像素子	1/1.7型MOS　総画素数1280万画素 原色カラーフィルター
レンズ （ナノサーフェース コーティングあり）	光学3.8倍ズーム　f=4.7 ～ 17.7 mm （35 mmフィルムカメラ換算：24 mm ～ 90 mm）／ F1.4（W端時）～ F2.3（T端時）
手ブレ補正	光学式
撮影可能範囲	● 通常　50 cm ～∞ ● AFマクロ／MF ／インテリジェントオートモード／動画　1 cm（W端時）／ 30 cm（T端時）～∞ ● シーンモード　上記範囲と異なる場合あり
シャッターシステム	電子シャッター連動メカニカルシャッター
最低被写体照度	約3 lx（iローライト時、シャッタースピード1/30秒）
シャッタースピード	250秒～ 1/4000秒
露出	プログラムAE（P）、絞り優先AE（A）、 シャッター優先AE（S）、マニュアル露出（M）
測光方式	マルチ測光／中央重点測光／スポット測光
液晶モニター	3.0型TFT液晶（3:2）（約92万ドット）
マイク	ステレオ
スピーカー	モノラル
記録メディア	内蔵メモリー（約70 MB） SDメモリーカード／ SDHCメモリーカード／ SDXCメモリーカード

記録画像ファイル形式	写真：RAW ／ JPEG（DCF準拠、Exif2.3準拠、DPOF対応）／ MPO 動画：AVCHD ／ MP4
音声圧縮方式	AVCHD：Dolby® Digital（2ch） MP4：　AAC（2ch）
インターフェース	デジタル：　USB 2.0（High Speed） アナログビデオ：NTSCコンポジット オーディオ：　オーディオ出力(モノラル)
端子	HDMI：miniHDMI Cタイプ AV OUT/DIGITAL：専用ジャック(8 pin)
寸法	約 幅110.5 mm×高さ67.1 mm×奥行き45.6 mm （突起部除く）
質量	約298 g（カード、バッテリー含む） 約269 g（本体）
推奨使用温度	0 ℃～ 40 ℃
許容相対湿度	10%RH ～ 80%RH
言語切り換え	なし(日本語のみ)

■ 専用バッテリーチャージャー（DE-A81A）

定格入力	100 V ～ 240 V　50/60 Hz
定格出力	DC4.2 V　0.65 A（充電時）
入力容量	15 VA

■ バッテリーパック(DMW-BCJ13)

電圧／容量	3.6 V/1250 mAh
種類	リチウムイオン

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製(コピー)したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、[MENU/SET]を押してセットアップメニューの[バージョン表示]を表示し、[MENU/SET]を押してご覧ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- HDAVI Control™は商標です。
- “AVCHD Progressive”、“AVCHD”および“AVCHD Progressive”、“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Windows および Windows Vista は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
- AVC規格に準拠する動画(以下、AVCビデオ)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
- ライセンスを受けた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合
  詳細については米国法人MPEG LA, LLC
  (http://www.mpegla.com/)をご参照ください。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

充電式
リチウムイオン
電池使用

使用済み充電式電池の届け先
最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
- ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

使用済み充電式電池の取り扱いについて
- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

- 付属のUSB接続ケーブルまたは当社製USB接続ケーブル
  (別売：DMW-USBC1)以外は使用しないでください。
- 当社製AVケーブル(別売：DMW-AVC1)をお使いください。
- 当社製HDMIミニケーブル(別売：RP-CDHM15、RP-CDHM30)をお使いください。
- ケーブルは延長しないでください。

別売品のご紹介

品名	品番
バッテリーパック※1	DMW-BCJ13
バッテリーチャージャー※2	DMW-BTC5
DCカプラー※3	DMW-DCC7
ACアダプター※3	DMW-AC5
本革ケース	DMW-CLX7
ライブビューファインダー	DMW-LVF2
外部光学ファインダー	DMW-VF1
フラッシュライト	DMW-FL220 DMW-FL360 DMW-FL500
フィルターアダプターキット	DMW-FA1
PLフィルター（サーキュラータイプ）	DMW-LPLA37
MCプロテクター	DMW-LMCH37
NDフィルター	DMW-LND37
AVケーブル	DMW-AVC1
USB接続ケーブル	DMW-USBC1
HDMIミニケーブル	RP-CDHM15 RP-CDHM30

※1 チャージャー（付属)を使って充電できます。
※2 海外用変換プラグ(Cタイプ)付き
※3 ACアダプターとDCカプラーは、必ずセットでお買い求めください。単独では使用できません。

●記載の品番は2012年7月現在のものです。変更されることがあります。

別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。
http://club.panasonic.jp/mall/sense/
携帯電話からもお買い求めいただけます。
http://p-mp.jp/cpm/

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
（次は図記号の例です）

してはいけない内容です。	実行しなければならない内容です。

⚠ 危険

バッテリーパック※は、誤った使いかたをしない
（※以降は、「バッテリー」と表記）

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。
- 指定外のものは使わない
- 分解や加工（はんだづけなど）、加圧、加熱（電子レンジやオーブンなどで）しない
- 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない
- 端子部（⊕・⊖）に金属を接触させない
- バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

⚠ 危険

バッテリーチャージャー※は、本機専用のバッテリーにのみ使用する
（※以降は、「チャージャー」と表記）

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

バッテリーは、正しく使う

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。
- 専用のチャージャーで充電する。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、バッテリーを外す

●煙が出たり、異常なにおいや音がする
●映像や音声が出ないことがある
●内部に水や異物が入った
●電源プラグが異常に熱い
●本体やチャージャーが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- チャージャーを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
- 電源を切り、販売店にご相談ください。

⚠ 警告

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

電源プラグは、正しく扱う

感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 定期的に乾いた布でふく(ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります)
- 根元まで確実に差し込む
- 接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しない

チャージャーは、誤った使いかたをしない

感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外(交流100 V ～ 240 V以外)で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する

⚠ 警告

運転者などに向けてフラッシュを発光しない

事故の誘発につながります。

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※ 血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

メモリーカードやホットシューカバーは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。

可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わない

雷が鳴ったら、触れない

接触禁止

感電の原因になります。

- 本体やチャージャーには、金属部があります。

⚠ 警告

ショルダーストラップは肩に掛けて使う

けがや事故の原因になります。
- 首に掛けての使用はしない。

ショルダーストラップを乳幼児の手の届くところに置かない

誤ってショルダーストラップを首に巻きつけ、事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

フラッシュ発光部およびAF補助光は、至近距離で直接見ない

誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。

フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害などの原因になることがあります。
- 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。

フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない

やけどの原因になることがあります。
発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。
- 発光直後は、しばらく触らないでください。

⚠ 注意

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

次のような場所に放置しない

火災や感電の原因になることがあります。

- 異常に温度が高くなるところ(特に真夏の車内やボンネットの上など)
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ

次のときは、バッテリーを取り出す

バッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

レンズキャップやひもを持って、本機をぶら下げたり、振り回したりしない

ひもが切れて本機が落下し、けがや破損の原因になることがあります。

⚠ 注意

3Dの視聴について

光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D撮影画像を視聴しない

病状悪化の原因になることがあります。

3D撮影画像の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

- 適度な休憩をとってください。

■近視や遠視の人、左右の視力が異なる人や乱視の人は視力矯正めがねの装着などにより、視力を適切に矯正する

■3D撮影画像の視聴中に、はっきりと二重に像が見えたら視聴を中止する

- 3D撮影画像の見えかたには個人差があります。視力を適切に矯正したうえで3D撮影画像をご覧ください。
- テレビの3D設定や本機の3D出力設定を2Dに切り換えることもできます。

3D撮影画像を視聴する場合は、30 ～ 60分を目安に適度な休憩をとる

長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。

3D撮影画像の視聴年齢については、およそ5 ～ 6歳以上を目安にする

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。

- お子様がご視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理 などは

■まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電　話（　　　　　　）　　－
お買い上げ日　　　　年　　月　　日

修理を依頼されるときは

「メッセージ表示」「Q&A故障かな？と思ったら」（取扱説明書　詳細操作編）でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名	デジタルカメラ
●品　番	DMC-LX7
●故障の状況	できるだけ具体的に

- **保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。**

保証期間: お買い上げ日から本体1年間
（但し、CD-ROM内のソフトウェアの内容は含みません）

- **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料　診断・修理・調整・点検などの費用
部品代　部品および補助材料代
出張料　技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間　5年
当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後5年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れ・修理に関するご相談は

パナソニック LUMIX（ルミックス）ご相談窓口　365日 受付9時～20時
電 話 フリーダイヤル 0120-878-638 ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●宅配修理サービスのご案内

（Webサイトからもお申し込みいただけます）

パナソニック 修理サービスサイト
http://lumix.jp/repair/ インターネットでのご依頼も可能です。

■お申込みいただいた修理依頼に基づき当社指定の宅配業者が修理依頼品をお引取りにお伺いし、修理が完了した後に修理品をご自宅までお届けするサービスです。（このサービスをご利用の場合、別途宅配費用がかかります）

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください
PC http://club.panasonic.jp/　 ※このサービスはWEB限定のサービスです。

愛情点検	長年ご使用のデジタルカメラの点検を!	
	こんな症状はありませんか	• 煙が出たり、異常なにおいや音がする • 映像や音声が乱れたり出ないことがある • 内部に水や異物が入った • 本体やチャージャーが破損した • その他の異常や故障がある
	▼	
	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

地域窓口へ直接お持ち込みされる場合は、ホームページにて地図を掲出しております。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

各地域の 修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	窓口	電話番号	所在地
北海道地区	札幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭川	☎(0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯広	☎(0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函館	☎(0138)48-6631	函館市西桔梗町589-241
東北地区	青森	☎(0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1
	秋田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福島	☎(024)991-9308	郡山市備前舘2丁目5
首都圏地区	栃木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	川口	☎(048)297-7820	川口市戸塚2丁目23-20
	千葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	秋葉原	☎(03)3251-4616	千代田区外神田1丁目8-1 第三電波ビル
	国分寺	☎(042)328-3211	国分寺市東戸倉2丁目38-1
	山梨	☎(055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
	神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	三重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421

地区	拠点	電話番号	所在地
近畿地区	滋 賀	☎ (077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京 都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大 阪	☎ (06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	吹 田	☎ (06)6338-1241	吹田市春日3丁目20-6
	奈 良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵 庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥 取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米 子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松 江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出 雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜 田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡 山	☎ (086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
	広 島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山 口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香 川	☎ (087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳 島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高 知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛 媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福 岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐 賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長 崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大 分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮 崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊 本	☎ (096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	鹿児島	☎ (099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
沖縄地区	沖 縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

0612

その他

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

●使いかた・お手入れ・修理に関するご相談は

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック LUMIX(ルミックス)ご相談窓口 365日 受付9時～20時

電 話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-638**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**
■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●**宅配修理サービスのご案内**(Webサイトからもお申し込みいただけます)

パナソニック 修理サービスサイト

http://lumix.jp/repair/
インターネットでのご依頼も可能です。

■お申込みいただいた修理依頼に基づき当社指定の宅配業者が修理依頼品をお引取りにお伺いし、修理が完了した後に修理品をご自宅までお届けするサービスです。
(このサービスをご利用の場合、別途宅配費用がかかります)

ご使用の回線(IP 電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用されるApple Inc.の商標または登録商標です。

パナソニック株式会社　AVCネットワークス社
〒571-8504　大阪府門真市松生町1番15 号